

平成30年度授業改善推進プラン

清瀬市立清瀬第五中学校第2学年

	学力調査から見えた課題(調査のない教科は授業における課題)	授業改善のための具体策
国語	授業に意欲的に臨み、課題などにも前向きに取り組む学年であるが、そのことが学力調査の結果にもあらわれている。基礎的な知識は定着しており、活用する力もついていることが学力調査からも読み取れるが、授業での積極的な発言が少ない。自分の答えに自信が持てなかったり、全体の場で表現することをためらうといった雰囲気を感じられる。正答率が若干低かった「書く力」に関しては、基礎的なスキルを身につけると、主題を捉え思考・表現することを理解させる指導が必要である。	何を学習しどんな力を身につける授業であるのかを自覚し、主体的に授業に取り組ませるために、学習の目標を明示する。「書く力」の授業において、パターンに倣った書き方の演習で基礎的なスキルを身につけさせる。目的に応じての構成の工夫や、「何について書くのか」という主題を明確に捉える意識を持たせるための学習を重ねる。また、小グループでの意見交換や話し合いの場を多く取り入れ、自分の考えを深め自信を持って表現できるよう、授業形態を工夫していく。
社会	ほとんどの生徒が授業に意欲的に取り組んでいる。特に写真や資料を読み取り、説明・表現するような活動には積極的に取り組んでいる。グループワーク等での自分の考えや意見を発言する生徒に偏りがみられるため、多人数の前で、自分の意見を発表する活動を通して、自分の意見を発信するコミュニケーション能力を向上させる必要がある。	授業の中で、自分の意見を発表する場を多く設け、多人数の前で、自分の意見を発信することに慣れさせる。写真・資料の読み取りや、文章で表現する活動を引き続き取り入れ、生徒の興味・関心を高めさせる材料にする。また、DVD等の映像資料を用いて、視覚的イメージをつかませることで、自分の意見確立の補助をする。
数学	授業に意欲的に取り組める生徒がほとんどである。基礎的な計算力が身につけている生徒が多い。応用コースの生徒は基本的な内容を応用して問題を考えることができている生徒が多い。学力調査から文章を読み取って文字式をつくることや、図形(条件を与えられた作図、空間図形の求積)問題、図形を読み取って考える問題を苦手とする生徒が見受けられる。それらの点が課題である。	文章から課題を読み取って自分の考えを表現できる力を養うために、授業の問題演習や定期テストで意図的に扱っていくようにする。また、既習事項を確認する時間を多く設け、繰り返し学習できるようにして基礎力の充実を図る。また、週末に宿題を出し、その週で習ったことを家庭学習で振り返らせるようにすると同時に家庭学習の習慣を身につけさせる。
理科	学力調査の結果より、関心・意欲・態度など生徒の取り組む姿勢は都平均を超えているものの、クラスの差が大きくなっている。他の観点でも都平均を超えており、基本的な学習の定着は達成している。しかし、読み解く力に関する内容の解決する力は都平均を上回っているものの数値が低く、定着した知識を総合的に解決する力を育てていく必要がある。	・さらに関心を高めるために、DVDの活用や博物館との連携等五感に訴える授業を展開する。また、身近に起きている現象とのつながりを持たせるような資料を使った授業を展開する。 ・総合的に解決する力を身に付けさせるために、教え合いを中心とする授業を展開しているが、グループで解決させていることが多いので、そこから個人で考え解決できるような授業を展開する。
音楽	真面目に課題や活動に取り組んでいる生徒が多い。合唱でも昨年度より声量を大きく歌える生徒が増えてきた。さらに表現を工夫させるために考えさせることが課題である。アルトリコーダーにおいてはできる生徒と苦手な生徒の差が大きい。また、楽典や鑑賞等のレポートでの表現が課題である。	実技では、パートや班などでの活動を多く行い、周りとの協力し作り上げていくことの大切さを教えていく。また、リーダーを育てて活動ができるようにする。アルトリコーダーは友人同士の教え合いや、個人的に支援し基本を身に付けさせる。鑑賞においても感じ取ったことを言語にして表現できるよう、レポート作成を通して進める。具体的な説明を行い、内容が伝わるように表現させる。
美術	・大人しく真面目に取り組む生徒が多い。 ・細かい作業が苦手な生徒が少なくない。 ・自分の表現活動としては少し消極的な面もある。 ・一斉指導は入りやすいので、一斉指導を簡潔にし、個別指導及び支援の充実を図ることが課題である。 ・授業内でいかに鑑賞を取り入れるか。	・机間個別支援において、個々に応じた課題を的確に提示する。 ・黒板及び大型画面に作品の参考又は手順、目標とすべき表現などを常に提示し、いつの時点でも確認できるようにしておく。 ・PC室、図書室などを活用して鑑賞を多く取り入れる。又、教科書等を用いて授業内導入鑑賞も取り入れ、鑑賞の授業の充実を図る。
保健 体育	授業に取り組む姿勢は大変意欲的である。授業規律が守られ、安全への意識もある。運動面だけでなく、体育分野、保健分野ともに、自ら学んでいく姿勢を高めていくことが課題である。	体育の授業では、「図解中学体育」を常に持参させ、ルールや、名称などの確認をしながら進めていく。又、自分の健康や、体力についても関心を持たせ、授業だけでなく、普段の生活にも取り入れていく姿勢を目指す。本年度もオリパラ教育を取り入れたり、体育分野、保健分野で、健康、安全について計画的に取り組む。
技術・家庭	【技術】全体的に前向きに取り組んでいる。 【家庭】意欲的に授業に取り組んでおり、食生活に対する関心も高い。調理については身近に感じているようだが、栄養素や食に関わる問題など内容が難しくなると、消極的になる生徒も少なくない。	【技術】課題に対し取り組む工夫や他者の考え方を学びやすいグループ中心で進める。 【家庭】実物や実験など様々な例を用いて具体的に指導するとともに、グループでの意見交換等を行い、多角的な視点から食について考える機会を設けていく。
外国語(英語)	全体的に授業に対して意欲的に取り組む姿勢がみられる。授業内容をその場では理解できるが、そのことを活用して英文を話したり、書いたりする力が不足しているように思える。英単語や文法事項の定着を繰り返し図り、自信を持って英文を話したり、書いたりできる力を育てていく。	英単語や基本文などの小テストを繰り返し行い、基礎基本の定着を図る。ペアワークやグループワークを活用し、英語を話す機会を設ける。また、スピーチテストなど導入し、英語を話すことへの自信につなげたい。